

### カビの対策 Q&A

Q 住宅の壁一杯にカビが広がっていますが、この先腐って壊れてしまう心配はありませんか。また、このカビを止めて変色を取るにはどうしたら良いのでしょうか？

A 先に説明したように、カビの原因はアオカビ、ケカビなどの子の菌や不完全菌と言われる菌によるもので、腐れを起こすキノコ(担子菌)とは種類、性質が違います。カビの原因となる菌も湿度が高く湿った環境を好み、北側の押し入れ、畳裏などによく発生します。強度の低下はほとんどないため、ナミダタケのように床が抜けるようなことはありません。しかし、胞子を形成し、これがゼンソクなどを引きおこし健康に害を及ぼします。

さて、このカビを防ぐには腐れを防止すると同じように、乾燥させることが最も大切です。これは本文頁を参照してください。また、カビが原因となっている変色を取り除くための漂白法としては、塩素系によるものが一般的です。市販の漂白剤および使用例を表7に示します。

### アリの対策 Q&A

Q 羽のあるアリを見かけました。シロアリではないでしょうか。

A 木材を食害することで有名なシロアリは、女王、兵アリ、職アリのような階級社会を形成しています。しかし、このシロアリは、同じような社会を持っているアリの仲間ではなく、より下等なゴキブリの近縁となっています。住宅に大きな被害をもたらしているのは、イエシロアリとヤマトシロアリです。特に、イエシロアリの被害は大きく、マツの辺材など柔らかい材料を好むようですが、住宅だけではなく、塀や電柱、枕木更にプラスチックをも食害します。それぞれの分布地域と成虫を図19と表8に示します。

シロアリは木材の主成分であるセルロースを食べますが、これをブドウ糖にまで分解して消化しやすい形にしているのは、体内に共生している原生動物です。

ヤマトシロアリは水を運ぶ能力がないため、湿った木材だけを食害します。そのため、浴室や台所などの水回り部分、北向きの部屋の床下など腐れの起きやすい条件のところで被害が多くなってい

表7 市販漂白剤の一部とその適用例

成分系	商品名	製造元	浸漬法	塗布法	適用例
亜塩素酸ナトリウム系	ネオンロックス ニューブランカー シルブライト カラーミン400 モクシロン	保土ヶ谷化学(株) " 日本カーリット(株) 大鹿振興(株) ケミホルツ(株)	5~15%液 2~24時間	10~25%液 50~80g/m <sup>2</sup>	フケ、青変菌、カビによる汚染の除去
次亜塩素酸ナトリウム系	ビューラックス ポロナック	(株)オーヤラックス 北海道曹達(株)	3~10%液 2~5時間	不適	偽心材、フケ、カビによる汚染の除去

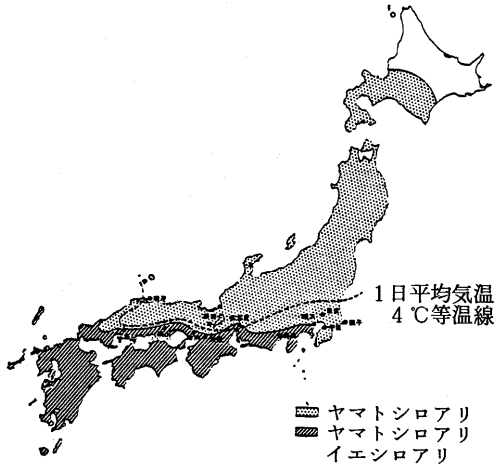
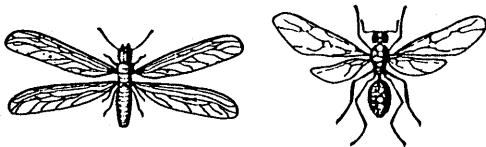


図19 シロアリの分布地域

表8 シロアリとアリの比較

	シロアリ	アリ
はね翅	翅は細長く、4枚とも同じ大きさ 前・後翅は別々に動く 翅脈は網目状でこまかい	後翅は前翅より大きい 前・後翅は直結して1枚の翅として動く 翅脈は太くて少ない
胴	ズン胴 胸部と腹部は同じ太さ	クビレ腰 腹部の基部は細くくびれる
足	短め	長め
触角	数珠玉、直線状	くの字形
体色	褐～黒色	黄～赤褐～黒色



ます。暖かい地方にいますので北海道の南部にも分布していますから、ここでは防腐、防蟻処理した土台を使い、本文中で説明したような処理をすることが必要です。

道東、道北ではシロアリは見つけられていません。それらの地域で羽のあるアリは普通のアリ（黒アリ）ですから、木材に被害を与える心配はありません。成虫の姿も図に示すようにはっきりと異なっています。

### キクイムシの対策 Q&A

Q 住宅内部の棚板などから木クズが落ちてきます。材料には小さな穴があいていますが、この原因はいったい何でしょうか。

A 穴が比較的大きくて、出てきた成虫の大きさが10mm以上ならばカミキリムシ、キバチなどによる被害と考えられます。これらの虫は伐採直後の生丸太に産卵し、幼虫が木材中を食い込み、普通5～7月頃表面に脱出孔をあけて成虫が飛び出します。成虫は住宅部材には産卵しませんので、被害の続くことはなく大きな問題には至りません。

一方、乾燥したナラやラワンが被害を受けているのならヒラタキクイムシ（図20）ではないかと考えられます。この虫の幼虫は、ナラなどの乾燥材中で生活し、含まれているでん粉を食べて成長しています。そして、5～7月頃材表面に1～2mmの脱出孔をあけて飛びだします。成虫が飛びだした後は多量の木クズが残されます。放置しておくとし丸太の害虫と違い、ヒラタキクイムシの成虫は再び産卵します。そのため被害箇所が広がっていきますから、適切な処理が必要です。

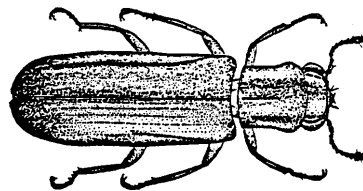


図20 ヒラタキクイムシの成虫  
体長は3～7mm程度。  
幼虫が木材中のでん粉を食べる。

まず、ヒラタキクイムシが食害するのは、ラワンやナラ辺材のようなでん粉の多い材料なので、これらはあらかじめ防虫処理されているものを使います。加害された後では完全に駆除するのは難しくなりますが、市販の殺虫剤を塗布するか、被害範囲が大きければ取りかえるしかありません。塗布処理では木材の内部になかなか浸透しないので、塗布は一度だけでなく、二度、三度と繰り返すことが必要です。